



株主通信

第32期

2009年4月1日～2010年3月31日



情報を未来の知恵に

株式会社 プロト コーポレーション

証券コード:4298



■ 企業メッセージ

情報を未来の知恵に

■ 経営理念

物売る事より 知恵、情報を通じて 人・企業と効果的な結び付きをし 社会に貢献することを事業の基本理念とする

当社の基本的な考え方は、人・企業とは世の中にあって、また、その業界にあって真に必要とされることに価値観を持つ、ということです。他人、他企業と同じことはしたくない。世の中に人や物が溢れている中から、真に必要とされるためには情報と知力が絶対の武器であり、多少のリスクがあっても旺盛なチャレンジ精神とスピーディーな行動力で次代を切り開き、大きく成長することに喜びを感じることができる価値観を共有することが必要であると考えております。このため、常に「独創性のある事業」を目指し、その結果として「魅力ある企業」であり続けたいと考えております。

株主・投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2010年3月期におきましては、売上高・営業利益とも過去最高を更新し、5期連続の増収増益となりました。

景気回復が緩やかなものに留まり、デフレ傾向が続く経済環境の中、このような業績を達成することができたのは、多くのユーザー・クライアントの皆様、そして株主の皆様からの強力なご支援をいただいた結果であると考えております。改めて厚く御礼申し上げます。

各事業セグメントの概況については、自動車関連情報における中古車販売店に対する総合的な経営支援事業の推進や、生活関連情報における医療・介護・福祉分野を中心とした商品・サービスの積極的な展開等の結果、全ての事業セグメントにおいて増収・増益を実現することができました。

また、2009年10月の株式会社システムワンと株式会社Medical CUBICに続き、本年4月に株式会社バイクプロスを当社グループの一員として迎え入れる等、今後の成長に向けた布石を打ってまいりました。当社グループでは、引き続き、M&A・アライアンスを通じて事業の成長スピードを加速させていくとともに、多様化する消費行動に迅速に対応し、ユーザー・クライアントから支持される商品・サービスの開発・提供に努め、企業ブランド・商品ブランドの確立に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2010年6月

代表取締役社長

入川 達三

業績ハイライト

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2009年3月期末 2009年3月31日現在	2010年3月期末 2010年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,038	14,184
固定資産	9,570	10,038
有形固定資産	7,318	7,134
無形固定資産	293	870
投資その他の資産	1,958	2,034
資産合計	21,608	24,223
負債の部		
流動負債	6,167	5,862
固定負債	576	659
負債合計	6,743	6,522
純資産の部		
株主資本	14,823	17,620
資本金	1,824	1,824
資本剰余金	2,011	2,011
利益剰余金	10,999	13,796
自己株式	△ 11	△ 12
評価・換算差額等	△ 37	△ 9
少数株主持分	78	89
純資産合計	14,865	17,700
負債・純資産合計	21,608	24,223

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2009年3月期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	2010年3月期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	23,657	25,682
売上原価(※)	9,064	10,273
売上総利益	14,592	15,409
販売費及び一般管理費	9,208	9,310
営業利益	5,384	6,098
営業外収益	95	89
営業外費用	79	22
経常利益	5,400	6,165
特別利益	64	5
特別損失	328	173
税金等調整前当期純利益	5,135	5,998
法人税、住民税及び事業税	2,131	2,495
法人税等調整額	△ 133	△ 38
少数株主利益又は損失(△)	△ 49	11
当期純利益	3,187	3,529

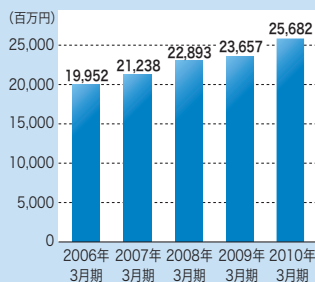
(※) 返品調整引当金戻入・繰入額を加味した数値です。

連結キャッシュ・フロー計算書

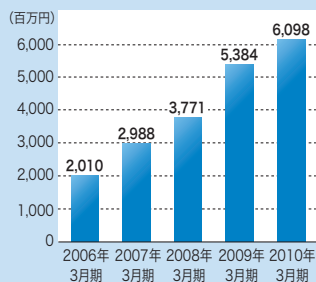
(単位:百万円)

	2009年3月期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	2010年3月期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,750	4,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,949	△ 1,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 624	△ 773
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54	8
現金及び現金同等物の増減額	121	2,100
現金及び現金同等物の期首残高	8,985	9,107
現金及び現金同等物の期末残高	9,107	11,207

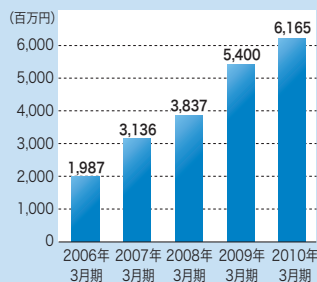
売上高



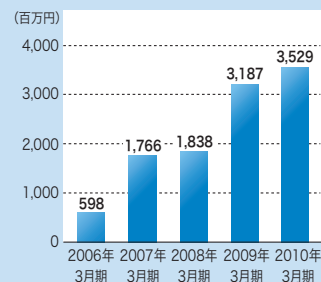
営業利益



経常利益



当期純利益



事業概況

Gooシリーズの持続的成長に向けた取り組み

刊行エリアの拡大―「Goo甲信版」創刊―

2010年4月に、株式会社日本文化社より中古車情報「Mj」事業の譲渡を受け、当社は甲信エリア（長野県、山梨県）での事業展開を開始し、6月24日に新たにクルマ情報誌「Goo甲信版」を創刊しました。今回の創刊により、Gooブランドの圧倒的なポジションの確立を目指します。

安心・信頼のクルマ選びをバックアップ

当社では、2006年2月より「Goo認定」サービスを開始しており、第三者機関である特定非営利活動法人 日本自動車鑑定協会の協力のもと、「Goo認定」加盟店が所有する商品車両の鑑定情報をクルマ・ポータルサイト「Goo-net」等の当社メディアを通じて消費者に開示してきました。そして、2010年4月には、中古車オークション運営国内最大手の株式会社ユー・エス・エス（以下USS）と業務提携を行うことを発表しました。この提携を通じて「Goo認定」サービスの中古車車両鑑定情報にUSSの車両検査内容等を転用することや中古車品質評価基準の共同研究を進めることなどを検討していきます。これにより、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びができる環境を整備していきたいと考えています。

また、2010年2月には、中古車修理保証サービス「Goo保証」を開始し、さらなる安心・信頼をユーザーに提供しています。



バイク分野の強化―(株)バイクブロスを子会社化―

当社は、2010年4月1日に株式会社バイクブロスの子会社化しました。株式会社バイクブロスは、バイクパーツに係るECをはじめ、専門性の高い多様なコンテンツを展開しており、「バイクを楽しむ」ユーザーとの強力な接点を持っています。今後、「バイクを買いたい」ユーザーから圧倒的な支持を得ている「GooBike」とのシナジーにより、事業規模の拡大を進め、バイク業界の活性化に貢献していきます。



【バイクブロスURL】 <http://www.bikebros.co.jp/>

BPO事業により成長するプロトデータセンター

株式会社プロトデータセンターでは、「Goo」シリーズをはじめとした当社商品のデータ入力業務等の内製化を進め、当社グループの収益性向上に大きく貢献してきました。

そして2010年3月期より、BPO（ビジネス プロセス アウトソーシング）事業の本格的な展開を開始しました。BPO事業では、これまで当社グループ内における業務で得られたノウハウを活かし、トータルソリューションとして、①データエントリー、②デザイン、③Webソリューション、④テレマーケティングの4つのサービスを展開しています。今後においても、BPO事業の拡販に取り組み、さらなる成長を目指します。



(株)プロトデータセンター本社ビル

TOPICS

- | | |
|----------|---|
| 2009年 4月 | クルマ情報誌「Goo北陸版」創刊 |
| 2009年 9月 | クルマ・ポータルサイト「Goo-net」に認証・指定工場のコンテンツを追加 |
| 2009年10月 | Veeセミナー（セミナー情報）開始
リサイクル総合情報サイト「おいくら」を（株）ディー・エヌ・エーより譲受
（株）システムワンを子会社化
（株）Medical CUBICを子会社化
新車・試乗車検索予約サイトをオープン |
| 2010年 5月 | インターネット広告代理事業がヤフー（株）の「セールスパートナーズ・カンファレンス」2009年度オースタムキャンペーンにて「最優秀達成賞」受賞
Goo-net iPhoneアプリを公開 |

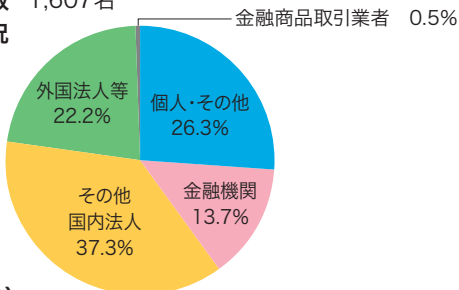
■ 株式情報 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数 30,900,000株

発行済株式総数 10,470,000株

株主数 1,607名

株式分布状況



大株主(上位10名)

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	株式会社夢現	3,403	32.50%
2	横山 博一	750	7.16%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	746	7.12%
4	BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES SINGAPORE/BP2S SYDNEY/JASDEC/AUSTRALIAN RESIDENTS	553	5.28%
5	横山 順弘	486	4.64%
6	ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカンクライアント	214	2.05%
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	190	1.81%
8	メロンバンク エヌビーエヌ アムロ グローバル カストディ エヌブイ	186	1.77%
9	メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	173	1.65%
10	齊藤 実	169	1.62%

(注) 上記持株比率は、自己株式(9,726株)を含めて計算しています。

■ 当社IRサイトのご案内

【IR情報】URL <http://www.proto-g.co.jp/IR/>

ニュースリリース、IRライブラリ、個人投資家向けコンテンツなど、
当社IRに関する様々な情報を掲載しています。

また、IRメール配信登録も受付中です。



プロトコーポレーション
モバイルサイト